

大学図書館 電子図書館・電子書籍貸出サービスアンケート 2017

2017年7月12日

【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館(者)についてご記入ください

※1-1は記入必須となります。

【1-1】貴大学図書館名

【1-2】図書館数(中央館と分館(学部図書館、キャンパス別図書館)をあわせた数)

【1-3】ご担当者お名前・部署名

【1-4】ご連絡先メールアドレス(半角英数字でご入力ください)

【1-5】電話番号

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果の発表会及び図書館における電子書籍サービスのセミナーのご案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途に「図書館の電子書籍に関する用語の説明」を添付していますのでご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

【1-6】アンケート集計資料の送付方法について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

※ご回答下さった大学図書館様には回答者様宛でメールでアンケートの集計結果をお送りいたします。

(1)メールによる送付を希望(メールアドレス必須)

(2)送付不要

(3)その他

【2】大学の設置学部について(複数選択可)

【質問 2-1】貴大学において、設置している「人文・社会科学系学部」を以下の選択肢(1)~(5)からご選択ください(複数選択可)

- (1) 法学部
- (2) 経済学部
- (3) 文学部・人文学部
- (4) 教育学部
- (5) 人文・社会科学系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-2】貴大学において、設置している「理工系学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

- (1)理学部
- (2)工学部
- (3)農学部
- (4)理工系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-3】貴大学において、設置している「医歯薬系学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

- (1)医学部
- (2)歯学部
- (3)薬学部
- (4) 医歯薬系の上記以外の学部 (記載) _____

【質問 2-4】貴大学において、設置している「体育・スポーツ・芸術・文理融合学部」を以下の選択肢(1)~(4)からご選択ください(複数選択可)

[総合科学系学部]

- (1) 体育学部・スポーツ学部
- (2) 芸術学部(美術学部、音楽学部を含む)
- (3) 文理融合型学部
- (4) 具体的学部名 (記載) _____

【質問 2-5】貴大学において、設置している学部につき、上記 2-1~2-4 以外の学部がありましたらご記入下さい(記入)

- (1)設置学部名(記載) _____

【3】電子図書館サービスの実施について

【質問 3-1】貴大学の図書館で「電子図書館サービス」として利用しているものがありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

※学内に複数の図書館を設置している場合には、そのうちの1つの図書館でも利用しているものがある場合にはご選択ください

※Webでの図書検索・貸出予約サービス、OPAC検索は、本アンケートの「電子図書館サービス」には含んでいません

(1)電子書籍貸出サービス

・例 Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)等

・なお、(1)をチェックされた方は、質問【4-1】～【4-6】にご回答ください

(2)電子ジャーナルサービス

→例 ScienceDirect (Elsevier 社) 等

(3)国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス

(4)データベース提供サービス

→例 JapanKnowledge+ (ネットアドバンス社) 等

(5)デジタルアーカイブ

(6)音楽・音声情報配信サービス

(7)その他(記載)

【4】「電子書籍貸出サービス」について

※【質問 4-1】～【質問 4-5】については、前問【質問 3-1】において(1)を選択した図書館がご回答ください

※【質問 4-6】については、前問【質問 3-1】において(1)を選択しなかった図書館がご回答ください

※【質問 4-7】～【質問 4-10】については、すべての図書館がご回答ください

【質問 4-1】電子書籍貸出サービス提供方法について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)登録利用者(学生・教職員)のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供(学外でもアクセス可能)
 - (2)登録利用者(学生・教職員)のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供(学内に限定)
 - (3)学内の図書館など特定の施設のパソコン等に電子書籍コンテンツを提供
 - (4)その他(記載)
-

【質問 4-2】電子書籍貸出サービスの事業者を以下の(1)~(8)からご選択ください。当てはまるものがない場合は(11)その他をご選択してサービス名称をご記入ください(複数選択可)

- (1) Maruzen eBook Library(丸善雄松堂)
 - (2) eBook Collection (EBSCOhost) [旧 NetLibrary] (紀伊国屋書店)
 - (3) Springer eBooks (Springer 社)
 - (4) Book Looper(京セラコミュニケーションシステム)
 - (5) LibrariE(日本電子図書館サービス)
 - (6) 化学資料館
 - (7) 医書 jp(医書ジェーピー)
 - (8) Wiley Online Library (Wiley 社)
 - (9) Cambridge BookOnline
 - (10) Making of the Modernworld
 - (11) Oxford Scholarship Online
 - (12) その他(記載)
-

【質問 4-3】「電子書籍貸出サービス」で提供される電子書籍のタイトル数を和書・洋書・その他の別にお答えください(記載)

- | | | |
|--------------|-------|------|
| (1) 和書 | _____ | タイトル |
| (2) 洋書 | _____ | タイトル |
| (3) 中国語・韓国語書 | _____ | タイトル |
| (4) その他 | _____ | タイトル |

【質問 4-4】「電子書籍貸出サービス」で提供される電子書籍のタイトルのジャンルのうち、タ

イトル数の多いジャンルを上から5つお選びください(5つ以下でも結構です)

- (1) 0類 総記
- (2) 1類 哲学
- (3) 2類 歴史・地理
- (4) 3類 社会科学
- (5) 4類 自然科学
- (6) 5類 技術・工学
- (7) 6類 産業
- (8) 7類 芸術・スポーツ
- (9) 8類 言語
- (10) 9類 文学

【質問 4-5】 電子書籍サービス導入している場合において、電子書籍コンテンツの費用に
いて会計処理はどのようになさっていますか、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)電子書籍を図書館資料「備品」として扱う
 - (2)電子書籍を図書館資料「消耗品」として扱う
 - (3)電子書籍についてもデータベース(商用)と同等「使用料等役務費」として扱う
 - (4)サービス全体についてオンラインシステム「使用料役務」に含める
 - (5)サービス全体について「委託料」として扱う
 - (6)その他(記載)
-

【質問 4-6】「電子書籍貸出サービス」を授業等で意図的に活用している事例がありましたら具
体的にご記入ください(記載)

※ **【質問 4-7】** については、前問 **【質問 3-1】** において(1)を選択しなかった図書館がご回答く
ださい。

【質問 4-7】 貴大学の図書館における「電子書籍貸出サービス」の状況について、選択肢から
ご選択ください

- (1)電子書籍貸出サービスを実施する予定が具体的にある
 - (2)電子書籍貸出サービスの実施を検討中(まだ具体的でない)
 - (3)電子書籍貸出サービスを実施する予定はない
 - (4)その他(記載)
-

※【質問 4-8】～【質問 4-12】については、すべての図書館がご回答ください。

【質問 4-8】「電子書籍貸出サービス」についての問い合わせや要望について、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)大学の法人からの問い合わせがある
 - (2)大学の教職員からの問い合わせがある
 - (3)学生・大学院生からの問い合わせがある
 - (4)大学の保護者からの問い合わせがある
 - (5)現在のところ問い合わせはない
 - (6)その他(記載)
-

【質問 4-9】「電子書籍貸出サービス」に期待する機能を、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)音声読み上げ機能
 - (2)文字拡大機能
 - (3)文字と地の色の反転機能 (読書障害対応)
 - (4)マルチメディア機能(映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供)
 - (5)電子書籍の紙出力による提供(コンテンツのプリントアウト)
 - (6)必要なコンテンツ発見の検索サービス(コンテンツの全文検索)
 - (7)その他(記載)
-

【質問 4-10】「電子書籍貸出サービス」に期待する形態(ライセンス形態等)を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)マルチアクセス対応(複数・多数同時利用可能形態)
 - (2)学習支援機能(ハイライト、書き込み、付箋等の機能)
 - (3)学校外からのアクセス対応
 - (4)その他(記載)
-

【質問 4-11】「電子書籍貸出サービス」のコンテンツについて懸念される事項(機能以外)がありましたら、選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)提供されているコンテンツが少ない
- (2)新刊のコンテンツが提供されにくい
- (3)コンテンツの規格がわかりにくい

- (4)コンテンツの価格
 - (5)コンテンツ購入(提供)費用の会計処理の基準
 - (6)コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7)その他 (記載)
-

【質問 4-12】「電子書籍貸出サービス」のコンテンツ以外について懸念される事項がありましたら、選択肢からご選択ください(複数回答可)

- (1)予算の確保
 - (2)担当部署、担当者の問題
 - (3)電子書籍貸出サービスが継続されるかどうか(サービス中止に対する不安)
 - (4)大学の理事会等に電子書籍貸出サービスについて理解を得ること
 - (5)電子書籍貸出サービスを実施するための十分な知識(経験)がない
 - (6)電子書籍貸出サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (7)利用者(学生・教職員)に対する電子書籍貸出サービスの説明
 - (8)その他 (記載)
-

【5】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」に対する対応について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

【質問 5-1】「国立国会図書館 図書館向けデジタル化送信サービス」の対応について、選択肢からご選択ください(一つ選択)

- (1)申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2)申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3)平成 29 年度中に申し込みをする予定で検討している
 - (4)平成 30 年度以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5)現在のところ申し込む予定はない
 - (6)その他(記載)
-

【質問 5-2】質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、サービスを開始して感じる利点を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)より多くの資料を提供できるようになった
- (2)利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった

- (3)より迅速に資料を提供できるようになった
 - (4)相互貸借を減らすことができた
 - (5)利用者端末の有効活用につながった
 - (6)その他(記載)
-

【質問 5-3】質問 5-1 で(1)(2)を選択した方について、図書館で「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」を開始して感じる課題を選択肢からご選択ください(複数選択可)

- (1)利用が少ない
 - (2)魅力的な資料が少ない
 - (3)運用・管理が煩雑である
 - (4)設備や要員に係る負担が大きい
 - (5)複写物の提供に係る判断が難しい
 - (6)その他(記載)
-

以上